

ミミックジョーカー粉剤DL

■種類名：シラフルオフェン・テブフェノジド粉剤
■有効成分：シラフルオフェン-----0.50%
 テブフェノジド-----0.50%

■登録番号：第18995号
■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
■登録初年：1995.04.26
■性状：類白色粉末 45μm以下
 浮遊性指数20以下
■有効年限：4年
■包装：3kg×8袋

【特長】

- 稲の殺虫剤として定評のあるジョーカーと IGR 剤ロムダンの混合剤。
- 鱗翅目害虫からウンカ類、ヨコバイ類、カメムシ類、イナゴ類に効果を示す。

【適用内容】(2015年10月末日現在)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シラフルオフェンを含む農薬の総使用回数	テブフェノジドを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ	3～4kg/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	2回以内	2回以内
	ニカメイチュウ コブノメイガ イナゴ類 カメムシ類 イネツトムシ	4kg/10a					
だいず	カメムシ類 ハスモンヨトウ	3kg/10a					3回以内

【効果・被害等の注意】

- 本剤は飛散を少なくするように製剤されており、一般の粉剤に比べ、見かけ比重がやや大きく流動性が良いので、散布の際は散粉機の開度を一目盛程度しぼって散布すること。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにすること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ◆ ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにすること。
 - ◆ 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めること。
- 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- ❖ 散布の際は農薬用マスクなどを着用すること。
作業後はうがいをすること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
散布後は水管理に注意すること。
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。